

# 取扱説明書

WAVE 音声出力ユニット

WAV2000-AC

01-WAV-2-UM-01

このたびは、WAVシリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

# VoiceNavi

## 目次

1 . 概要	3
2 . 特長	3
3 . 主な用途	3
4 . 登録時間	3
5 . 仕様 WAV 2 0 0 0 - A C	4
6 . 外観図並びに外形寸法図	5
7 . 付属品及びオプション	5
8 . 適用音源	5
9 . 適用メモリカード並びにカードデータ作成ソフト	6
1 0 . 設置方法	6
1 1 . 接続	6
1 2 . 設定	6
1 3 . WAVE ファイル製作、カードデータ製作、スマートメディアへのコピー	6
1 4 . スマートメディアのセット	7
1 5 . メッセージ/接点・アドレス対応	7
1 6 . プログラム再生登録機能	8
1 7 . 制御方法	8
1 8 . 音量調整	9
1 9 . 各部の名称と機能	9
2 0 . 使用電源	10
2 1 . モードスイッチの設定	10
2 2 . 入出力信号	11
2 3 . 再生モード	11
2 4 . タイマー	14
2 5 . 自己復旧機能(ウォッチドックタイマー利用)	14
設置参考図	
1 . D I N レールへの設置	15
2 . L 金具使用による設置	15
接続参考図	
1 . 接点制御の場合	16
2 . バイナリ制御の場合	16
3 . シーケンサ等との接続例	17
困った時に	18

# VoiceNavi

## 1. 概要

本装置は、音源にパソコンの標準サウンド PCM 録音方式の WAVE ファイル、記憶媒体にデジタルカメラの標準メモ리카ード スマートメディアを採用した WAVE 音声出力ユニットです。

パソコンで録音した WAVE ファイルをそのまま音源として、記憶媒体のスマートメディアへコピーして使用できます。

フォトカプラ入出力、8 接点 / 1 2 7 C H - バイナリ - 制御 / 9 9 C H - B C D コード制御、5 W アンプを搭載してます。

産業機器，F A 機器，医療機器などの音声ガイド・音声警報に適しています。

## 2. 特長

音源にパソコンの標準サウンド「WAVE ファイル」採用。

記憶媒体にデジタルカメラの標準メモ리카ード「スマートメディア」を採用。

高音質サンプリング 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz 対応

スピーカー出力 5 Wmax. 8

8 接点制御 (用途別再生モード搭載)

1 2 8 C H バイナリ制御

9 9 C H B C D コード制御

プログラム再生登録対応 1 接点 8 WAVE ファイル、5 回リピート再生設定

インターバルタイマー 0/10/15/20/30/40/45/60 秒

スクリューレス端子台

D I N レール / L 金具 / 直接ビス止め 3 方式の固定に対応

2 1 0 (W) × 2 1 5 (D) × 4 4 (H) mm

A C 1 0 0 V または D C + 2 4 V / D C + 1 2 V 2 電源対応

## 3. 主な用途

工場ライン設備の音声ガイド・音声警報

少量多品種の産業機器・F A 機器の音声ガイド・音声警報

海外使用の少量多品種の産業機器・F A 機器の音声ガイド

中大型医療機器の音声ガイド / 警報

## 4. 登録時間

サンプリング周波数、スマートメディアのカード容量による。

カード容量	サンプリング周波数 KHz		
	11.025	22.05	44.1
8MB	11.2	5.6	2.8
16MB	22.4	11.2	5.6
32MB	44.8	22.4	11.2

PCM 8Bit ㄱ/ 単位：分 max.

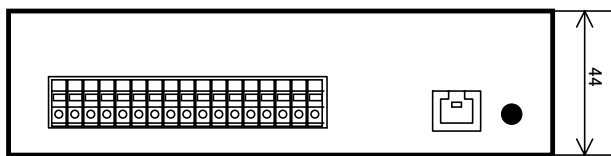
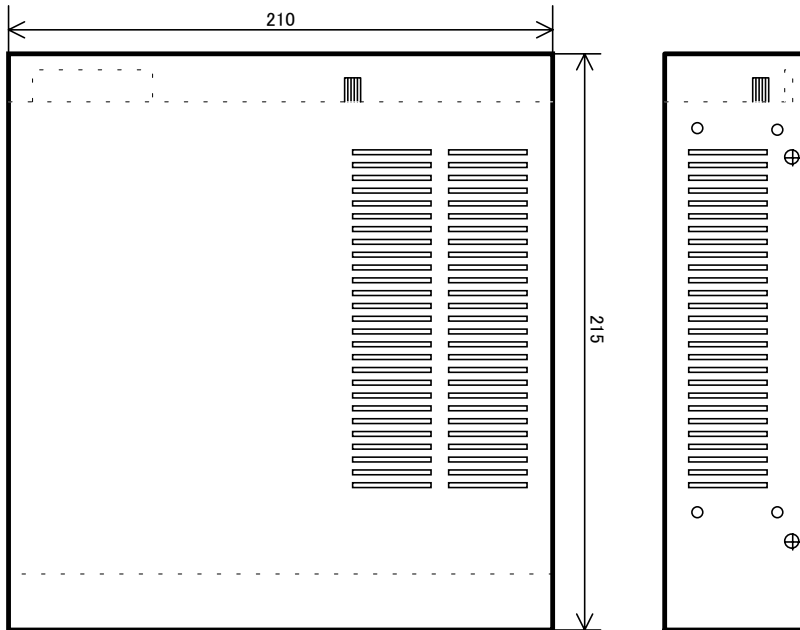
# VoiceNavi

## 5.仕様 WAV2000-AC

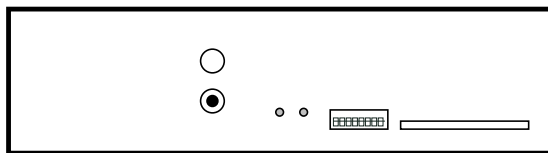
定格使用電圧	AC100V 50/60Hz またはDC+24V±10%	AC電源コード スクリーンレス端子台
消費電流	待機時 約80mA (AC100V時) / 約140mA (DC+24V時) 最大時 約250mA (AC100V時) / 約500mA (DC+24V時)	
寸法・重量	210W X 215D X 44H (mm) 突起部含まず 約3Kg	
塗装・仕上	メッキ仕上げ	
使用温度範囲	-5 ~ 55	
保存温度範囲	-10 ~ 70	
使用湿度範囲	35% ~ 80% RH (但し結露なき事)	
音声出力	スピーカ出力 5Wmax 8 LINE出力 -6dBm 600 (不平衡)	スクリーンレス端子台 専用CNにて取出し
音量調整	S P O U T 外部可変ボリューム(リアパネル)	
制 御	入力部 /SW1~SW8 (/D0~D7), /STOP, /OP (/ST) 無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ 出力部 /BUSY/ALM オープンコレクタ出力(DC+30V, 10mA)	スクリーンレス端子台 スクリーンレス端子台
再生モード	接点制御時 1.通常再生 2.入力中再生 3.順番再生 4.優先順位再生 5.後入力切替再生 6.記憶エンドレス再生 バイナリ制御 BCDコード制御 DIP SWで接点/バイナリ制御/BCDコード制御及び再生モード(接点制御時のみ)設定	
タイマー	通常タイマー(インターバル用) 0/10/15/20/30/40/45/60 DIP SWで設定	
適用メモ리카ード	スマートメディア 4MB / 8MB / 16MB / 32MB 3.3Vタイプ 1枚max.	
再生チャンネル数	接点制御時 8接点max バイナリ制御 127CHmax 強制停止: 00Hコード入力もしくはSTOP信号入力 プログラム再生登録対応 BCDコード制御 99CHmax 強制停止: STOP信号入力 プログラム再生登録対応	
再生方式	48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz 混在可 PCM 8Bit モノラル (WAVEファイル)	
再生帯域	300Hz ~ 10KHz	
登録時間	カード容量とWAVEファイルのサンプリング周波数による 11.025 22.05 44.1KHz 単位:分 8MB 11.2 5.6 2.8 16MB 22.4 11.2 5.6 32MB 44.8 22.4 11.2	
再生時間	プログラム再生登録機能を採用した場合、プログラムによる	
プログラム再生登録機能	本機能は、カードデータ作成ソフト VoiceMaker3上で設定します。 組立再生登録 1接点 8WAVEファイルmax. リピート回数登録 1接点 5回max.	
適用音源・録音装置	WAVEファイル 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz PCM 8Bit Mono Windows95/98 パソコンの録音機能による	
適用カードデータ作成ソフト	VoiceMaker3 for windows95/98 WAVEファイル登録・プログラム再生登録・レポート作成機能他	

# VoiceNavi

## 6. 外観図並びに外形寸法図



後面



正面

## 7. 付属品及びオプション

### 付属品

1. 取扱説明書
2. 保証書

### オプション

1. スマートメディア 8MB/16MB/32MB 3.3Vタイプ
2. L金具 WAV-LKANAGU 盤内・壁面取付用 1組2個
3. DINレール専用取付足 CKD-120 (タカチ製) 1組2個
4. ラインアウト用コネクタケーブル CK-LER2 1m

## 8. 適用音源

下記の WAVE ファイルが使用できます。

WAVE ファイル 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz PCM 8Bit MONO

# VoiceNavi

## 9. 適用メモリカード並びにカードデータ作成ソフト

### 1. 適用メモリカード スマートメディア 4MB 8MB 16MB 32MB 3.3V タイプ

(注)購入した場合、パソコン上でフォーマット(初期化)してご使用下さい。

### 2. 適用カードデータ作成ソフト

本装置で使用するスマートメディアへ収納するカードデータは、下記のソフトウェアで作成します。  
WAVE ファイルを接点・アドレスに割り付けをします

ボイスメーカースリー VoiceMaker3 for Win95/98

WAVE ファイル登録 WAVE ファイルを接点・アドレスに割り付けます。

プログラム再生登録 組立再生 1 接点 8 wave ファイル(max). リピート回数設定 5 回(max).

カードデータ作成 カードデータファイル(\*\*\*.wpj)を作成します。

レポート作成 上記の登録内容を印刷できます。

## 10. 設置方法

下記の方法により設置できます

(注) 「設置参考図」を参照して下さい

設置方法	備考
ビス止めによる設置	
D I Nレールに専用取付足を使用しての設置	専用取付足：CKD-120 (タカチ)
専用L金具を使用しての設置	専用L金具：WAV - LKANAGU 1組2個

## 11. 接続

本書記載の「各部の名称・機能」「接続参考図」を参照し、接続して下さい。

(注)

1. 使用する電源は単一電源です、ACとDCを同時に使用すると破損の原因になりますので御注意下さい。
2. 接続する場合、必ず電源を切って下さい。
3. DC電源には+ - の極性がありますのご注意下さい。
4. 信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。
5. 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。
6. 信号入出力、SP、LINEの配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。
7. 必要に応じてシールド線等をご使用下さい。

## 12. 設定

本書記載の「再生モード」「タイマー」を参照し、モードスイッチを設定して下さい。

(注) 必ず、電源を切って行って下さい。電源ON時に設定内容を識別します。

## 13. WAVE ファイル製作、カードデータ製作、スマートメディアへのコピー

### 1. WAVE ファイル製作 (パソコン録音)

サウンドブラスター(互換)サウンドボード等でMIC、ライン入力録音できます。

S/N比の良いサウンドブラスターゴールド、USB対応のサウンドユニットでの録音を推奨します。

録音したデータの加工・編集はサウンドブラスター等に添付されているソフトウェアで行います。

一般的にはメッセージの前後の無音をカットして、ファイル名を付記して保存します。このファイルがWAVEファイルです。フリー音源CDのWAVEファイルもご使用できます。

# VoiceNavi

## 2. カードデータ作成

カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 で、上記の WAVE ファイルを WAV シリーズ上で使用できるように、各接点（アドレス）に WAVE ファイルを割り付けます。また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。

## 3. スマートメディアへのコピー

上記の WAVE ファイルとカードデータファイルをスマートメディアにコピーします。

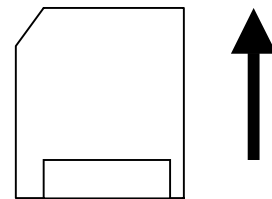
スマートメディアのフォーマット（初期化）

スマートメディアはパソコンでフォーマット（初期化）してからご使用下さい。

なお、フラッシュパス使用の場合、フラッシュパス添付のユーティリティソフトで行って下さい。

## 14. スマートメディアのセット

金色の接触部を下にし、カードコネクタに軽く、水平に挿入します。  
最後まで確実に挿入して下さい。



スマートメディアの金色の接触部が下になります。  
スマートメディアの切り欠きが有る方が前方左側になります。

## 15. メッセージ / 接点・アドレス対応

カードデータ作成時、VoiceMaker3 のレポート作成機能で、WAVE ファイル登録内容、プログラム再生登録内容などが表示、印刷できます。

VoiceMaker3 上の各画面の No. と接点（アドレス）の関係は次の通りになります。

WAVE ファイル登録のみの場合は、その No.

プログラム再生登録を行った場合は、その No.

### 1. 接点制御の場合

（一般的な再生モードの場合）

No.	接点(CN1)
01	SW1
02	SW2
03	SW3
04	SW4
05	SW5
06	SW6
07	SW7
08	SW8

（順番再生モードを使用する場合） 入力信号は /OP 詳細は「再生モード」参照。

No.	/OP 信号入力回数
01	1
02	2
03	3
04	4

# VoiceNavi

05	5
06	6
07	7
08	8
09	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16

## 2. バイナリ制御／BCDコード制御の場合

バイナリ制御時は VoiceMaker3 の No.とホスト側の制御アドレス(HEXデータ)は以下の様になります。

No.	チャンネル/CH	バイナリ(D0~D7)	BCDコード(D0~D7)
001	1CH	01h	00000001
002	2CH	02h	00000010
003	3CH	03h	00000011
.	.	.	.
015	15CH	0Fh	00010101
.	.	.	.
099	99CH	63h	10011001
.	.	.	.
128	128CH	80h	

入力論理は“負”論理  
ALL“L”=FFh  
ALL“H”=00h

## 16. プログラム再生登録機能

カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 のプログラム再生登録で登録された場合、再生時に登録した内容により、組立再生したり、リピート回数分再生します。

登録内容を変更する場合は VoiceMaker3 で変更し、再度、カードデータ (.wpj)と WAVE ファイル(.wav)をコピーして下さい。

なお、WAVE ファイル自体変更ない場合はカードデータファイル(.wpj)のみのコピーでも対応できます。(前のカードデータファイルは削除します)

(内容)

組立再生 1 接点(アドレス) 8wave ファイル max.

リピート回数 5 回 max. (組立再生全体をリピートします)

## 17. 制御方法

1. 電源 ON 前に、モードスイッチの設定を確認します。
2. 電源 ON から約 1 秒後より、信号入力できます。
3. 接点制御時  
モードスイッチにて設定した、再生モードに応じた信号入力を行います。
4. バイナリ制御／BCDコード制御時  
D 0 ~ D 7 , S T 信号により再生チャンネルの設定及び再生を起動します。  
また、制御信号として /STOP (入力) /BUSY (出力) 信号が有ります。

(注)

モードスイッチの設定は電源オン時の設定が有効になります。

順番再生モードは /OP に信号入力を行います。

タイマーを設定した場合、タイマーが作動しますのでご注意ください。



# VoiceNavi

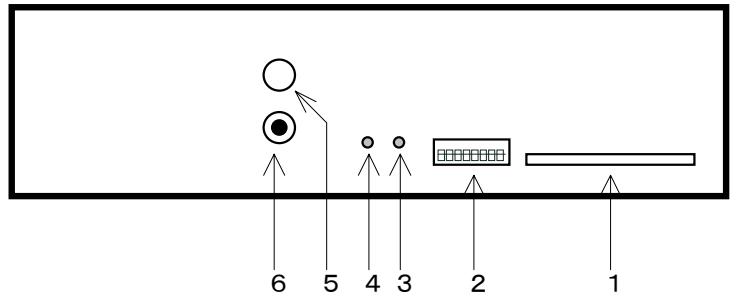
## 18. 音量調整

出力	出力内容	調整方法
ライン出力	600 -6dBm 不平衡	固定
スピーカー出力	5W max.8	可変ボリューム VR 1

## 19. 各部の名称と機能

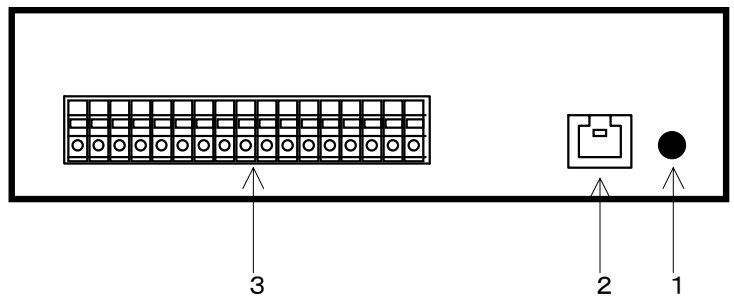
### フロントパネル (WAV2000-AC)

No.	名称
1	カード挿入口
2	モードスイッチ
3	再生中LED
4	電源LED
5	LINE OU 取りだし口(カバー有り)
6	スピーカジャック(8Ω)



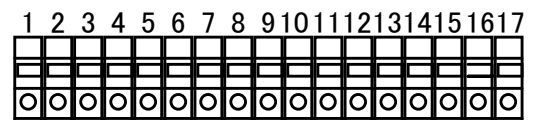
### リアパネル (WAV2000-AC)

No.	名称
1	AC100V電源用コード
2	ヒューズホルダー(0.5Aヒューズ)
3	スクリューレス端子台



### スクリューレス端子台 (WAV2000-AC)

No.	表示	I/O	レベル	説明
1	ALM	O	L	アラーム信号出力
2	BUSY	O	L	ビジー信号出力
3	OP	I	L	/STB信号入力
4	STOP	I	L	ストップ信号入力
5	1	I	L	SW1/D0
6	2	I	L	SW2/D1
7	3	I	L	SW3/D2
8	4	I	L	SW4/D3
9	5	I	L	SW5/D4
10	6	I	L	SW6/D5
11	7	I	L	SW7/D6
12	8	I	L	SW8/D7
13	COM	I	/	信号用GND
14	+SP	O		スピーカ出力+側
15	-SP	O		スピーカ出力-側
16	DC+24V	I		DC+24V電源入力
17	GND	I		同上 GND



サトーパーツ : ML - 800S1H17P

(注)適合電線

燃線 : 0.3mm<sup>2</sup> ~ 1.25mm<sup>2</sup> (AWG22 ~ AWG16)

素線径 : 0.18以上

# VoiceNavi

## 20. 使用電源

WAV2000-AC

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
AC100V 電源	AC100V ± 10% 50/60Hz	約 80mA	約 250mA	ヒューズ 0.5A
DC 電源	DC+24V ± 10%	約 140mA	約 500mA	左記消費電流は DC+24V 時

(注)

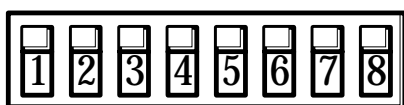
自動切替になっていません。単一電源でご使用下さい。

DC 電源は、できるかぎり電圧変動がない電圧でご使用下さい。使用可能電圧 DC+21.6V ~ 26.4V

非常放送、防災放送でご使用する場合は、非常用 DC 電源経由でご使用下さい。

## 21. モードスイッチの設定

モードSW



次のモードが設定できます。

再生モード

タイマーモード

接点制御／バイナリ制御／BCDコード制御

電源オン再生

(注)必ず、電源を切って設定して下さい。電源 ON 時、設定内容を識別します。

(再生モード設定) 再生モード内容については後記参照。

1	2	3	4	5	6	7	8	機能
—	—	—	—	—	OFF	OFF	OFF	通常再生モード
—	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	入力中再生モード
—	—	—	—	—	OFF	ON	OFF	順番再生モード
—	—	—	—	—	ON	ON	OFF	優先順位再生モード
—	—	—	—	—	OFF	OFF	ON	後入力切替再生モード
—	—	—	—	—	ON	OFF	ON	BCDコード制御
—	—	—	—	—	OFF	ON	ON	記憶エンドレス再生モード
—	—	—	—	—	ON	ON	ON	バイナリ制御

(タイマー設定) タイマーモード内容については後記参照。

1	2	3	4	5	6	7	8	機能
—	—	OFF	OFF	OFF	—	—	—	タイマー0秒
—	—	ON	OFF	OFF	—	—	—	タイマー10秒
—	—	OFF	ON	OFF	—	—	—	タイマー15秒
—	—	ON	ON	OFF	—	—	—	タイマー20秒
—	—	OFF	OFF	ON	—	—	—	タイマー30秒
—	—	ON	OFF	ON	—	—	—	タイマー40秒
—	—	OFF	ON	ON	—	—	—	タイマー45秒
—	—	ON	ON	ON	—	—	—	タイマー60秒

# VoiceNavi

(電源オン再生)電源ONエンドレス再生時の再生 CH を設定します。

適用再生モード:通常再生モード

(使用上のご注意) 電源 ON 時、POP 音が生じます。またデータ途中から再生することがあります。

この場合、WAVE ファイル製作時に、データの前に無音約 1 秒追加処理して下さい。

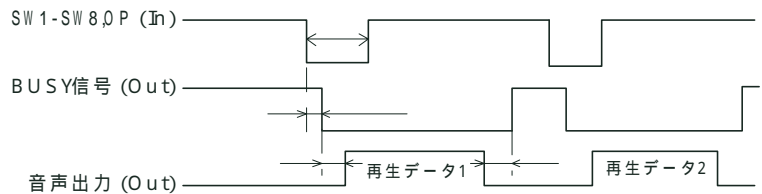
1	2	3	4	5	6	7	8	機能
ON	OFF	—	—	—	—	—	—	電源オンでSW1の再生
OFF	ON	—	—	—	—	—	—	電源オンでSW2の再生

## 2.2 . 入出力信号

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/SW1-8(D0-D7)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/OP(ST)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	

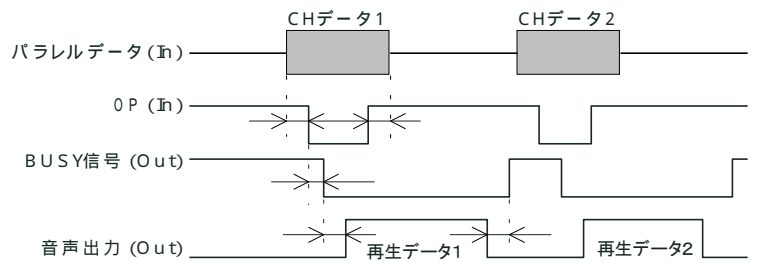
### 信号のタイミング (接点制御)

No.	信号名称	時間
①	SW, OP入力時間	50mS 以上
②	BUSY出力タイミング	50mS
③	音声出力タイミング	10mS
④	音声終了タイミング	10mS



### 信号のタイミング (バイナリ制御)

No.	信号名称	時間
①	データセット時間	10mS 以上
②	データホールド時間	10mS 以上
③	OP入力パルス幅	10mS<OP<100mS
④	BUSY出力タイミング	50mS max
⑤	音声出力タイミング	10mS max
⑥	音声終了タイミング	10mS max



## 2.3 . 再生モード

### 1 . 通常再生モード

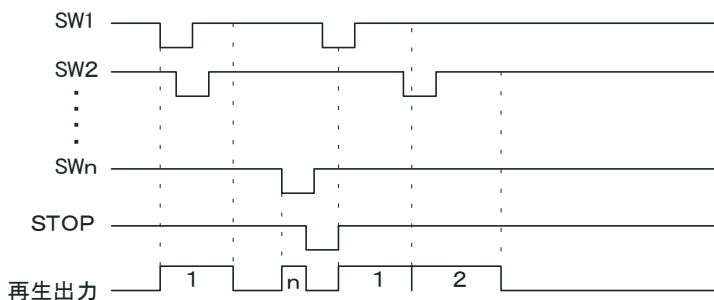
用途:一般用 ほとんどのモードで処理できます。

#### 1 . ワンパルス入力時

再生は一回のみ再生で、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

ストップ信号入力により、即停止します。



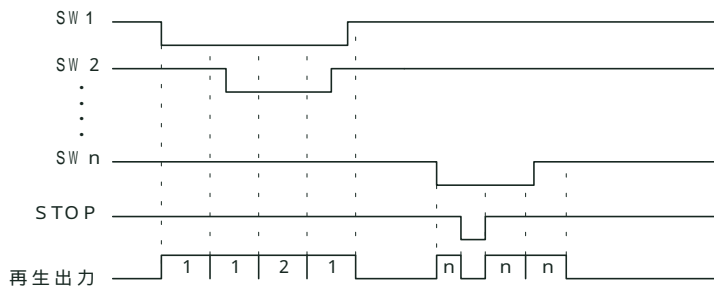
# VoiceNavi

## 2. レベル入力時

レベル入力の場合はリピート再生で、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。



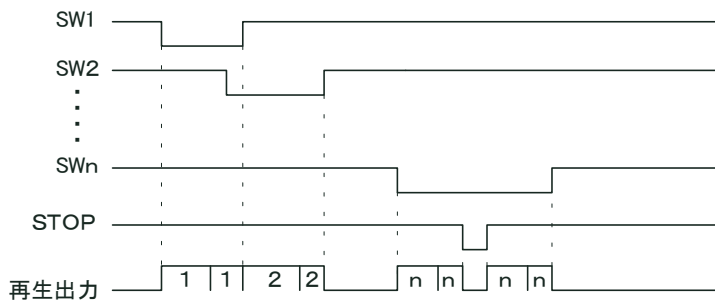
## 2. 入林中再生モード

用途：開演ブザー、サイレン、発車ベル・発車メロディ・発車案内放送等

再生はSW入力がある時のみ再生され、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。



## 3. 順番再生モード（インクリメント再生モード）

用途：1点出力タイマー装置による定時放送/紙芝居式音声ポスター・音声POP装置  
作業マニュアル案内装置/簡易バス・電車車内放送

注意：使用する接点

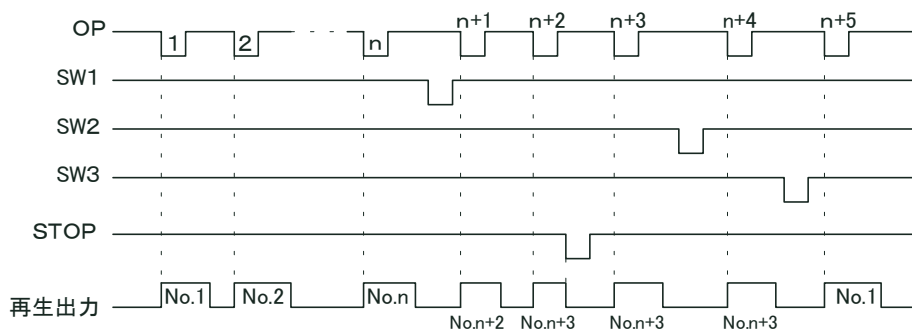
- / OP 再生
- / SW1 UP
- / SW2 DOWN
- / SW3 RESET (頭に戻る)

OP信号の入力により、最初から順番に再生し、最後のチャンネルまで再生すると、再び最初から再生します。再生中は他の入力は見ません。

SW1の入力で再生チャンネルを1個アップします。SW2の入力で再生チャンネルを1個ダウンします。

SW3の入力で最初の再生チャンネルに戻ります。

ストップ信号入力で即停止し、次のOP信号の入力により当該チャンネルの再生を最初から再生します。

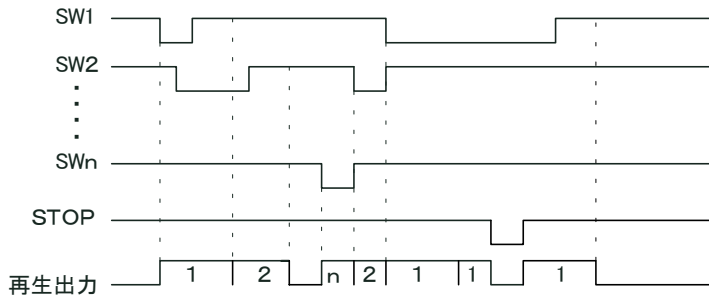


# VoiceNavi

## 4. 優先順位再生モード

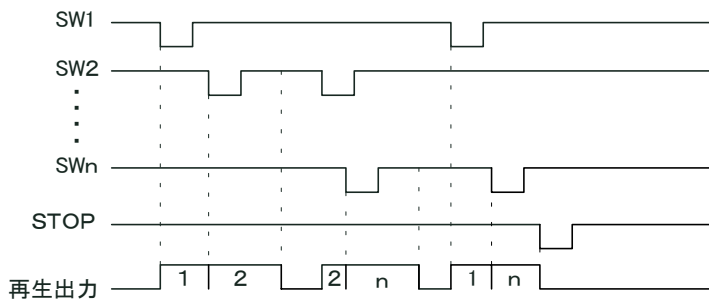
用途：BGM を優先順位の低い CH に割り付け、本スイッチ ON でエンドレス再生します。  
優先順位の上位の端子への入力で、「割り込み再生」します。  
有線放送や外部に BGM 装置がない場合、この機能で CM&BGM マシンになります。  
BGM は野鳥の鳴き声や川のせせらぎなどの環境音を推奨。

再生はワンショット入力時は 1 回みの再生になり、レベル入力時はリピート再生になります。  
再生中は、当該 SW より優先度の高い SW のみ検出し、入力されると即座に入力された SW のメッセージに切り替わります。また、リピート再生時では、優先度の高い SW のメッセージ終了後に、再度当該 SW のメッセージが、最初から再生されます。  
ストップ信号入力で即停止し、リピート再生時ではストップ解除後に、再度当該 SW のメッセージが最初から再生されます。



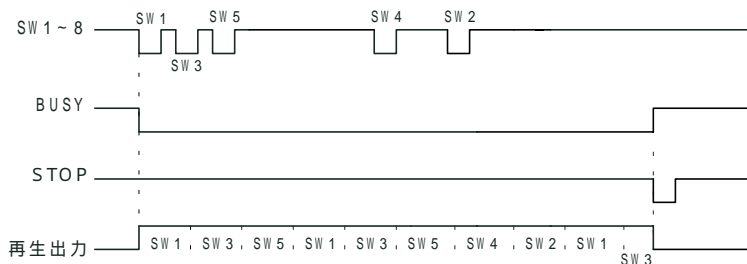
## 5. 後入力切替再生モード

再生はワンショット入力のみでの 1 回再生になります。  
再生中は、当該 SW 以外の全ての SW を検出し、入力されると即座に入力された SW のメッセージに切り替わります。  
ストップ信号入力で即停止します。



## 6. 記憶エンドレス再生モード

- ① 再生はワンショット入力のみでのエンドレス再生になります。
- ② 再生中は、当該 SW 以外の全ての SW 入力を検出し、入力があった SW を記憶し、入力順に順次繰り返しのエンドレス再生が行われます。**入力 SW の記憶数は 8 入力 max**
- ③ ストップ信号入力で即停止し、記憶がクリアされます。



# VoiceNavi

## 7. バイナリ制御

再生チャンネルは1チャンネル(01h)～128チャンネル(80h)対応です。  
チャンネルデータはOP(STB)信号の立下りで確定され、再生が起動します。  
(タイミングについては、21項を参照)

受信バッファは有りません

再生中は受信しません(受信データ無効)が、STOP(0チャンネル:00h)のみは有効とし、再生中でも強制停止します。

再生停止については、外部入力信号のSTOP信号(端子台)も有効です。

再生中は外部出力信号のBUSY信号(端子台)が出力されます。

## 8. BCDコード制御

再生チャンネルは1チャンネル(00000001)～99チャンネル(10011001)対応です。  
チャンネルデータはOP(STB)信号の立下りで確定され、再生が起動します。  
(タイミングについては、21項を参照)

受信バッファは有りません

再生中は受信しません(受信データ無効)が、STOP(0チャンネル:00h)のみは有効とし、再生中でも強制停止します。

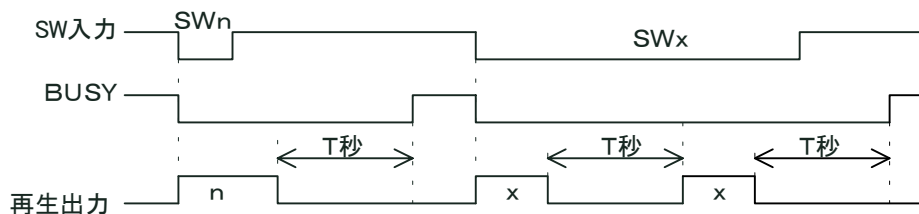
再生停止については、外部入力信号のSTOP信号(端子台)も有効です。

再生中は外部出力信号のBUSY信号(端子台)が出力されます。

## 2.4. タイマー

モードスイッチ1のbit3, 4, 5のいずれかがオン

SW入力にて当該メッセージが再生され、再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間(10秒～60秒)が作動し、経過後にBUSY信号がオフします。



T秒: モードスイッチ1のbit3, 4, 5により設定されたタイマー時間

## 2.5. 自己復旧機能(ウォッチドッグタイマー利用)

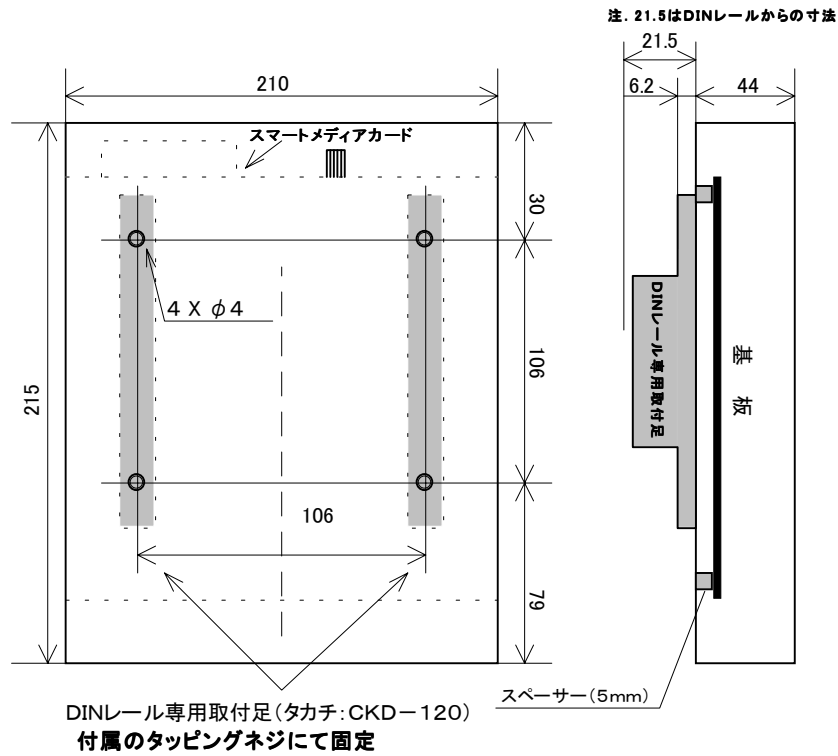
外来ノイズ等により、装置内のCPUが暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーによりCPUに強制リセットをかけます。これにより、CPUはイニシャライズされ、入力信号待機状態になります。

# VoiceNavi

## 設置参考図 (WAV2000-AC)

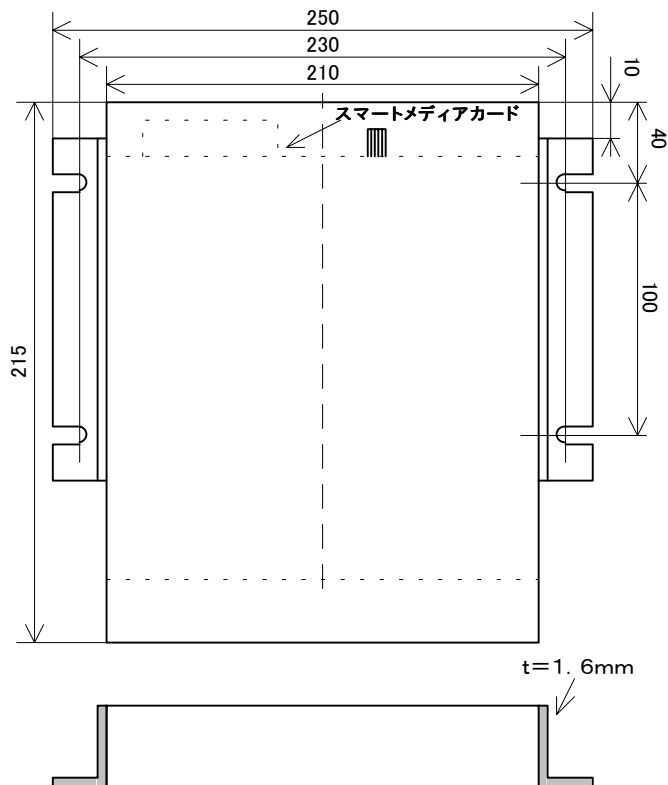
### 1. DINレールへの設置

#### 設置図 (DINレール専用取付足使用時)



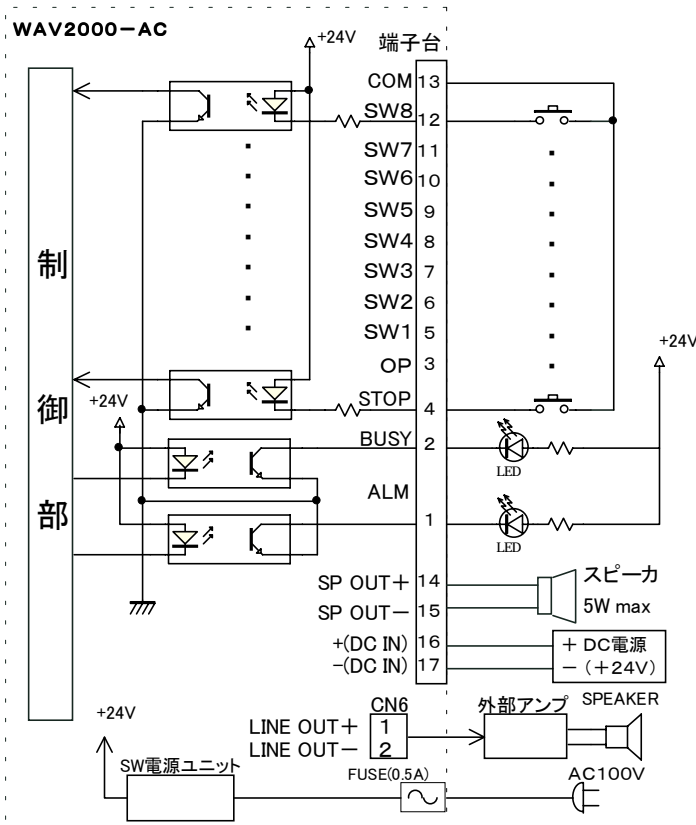
### 2. L金具使用による設置

#### 設置図 (L金具:WAV-LKANAGU使用時)

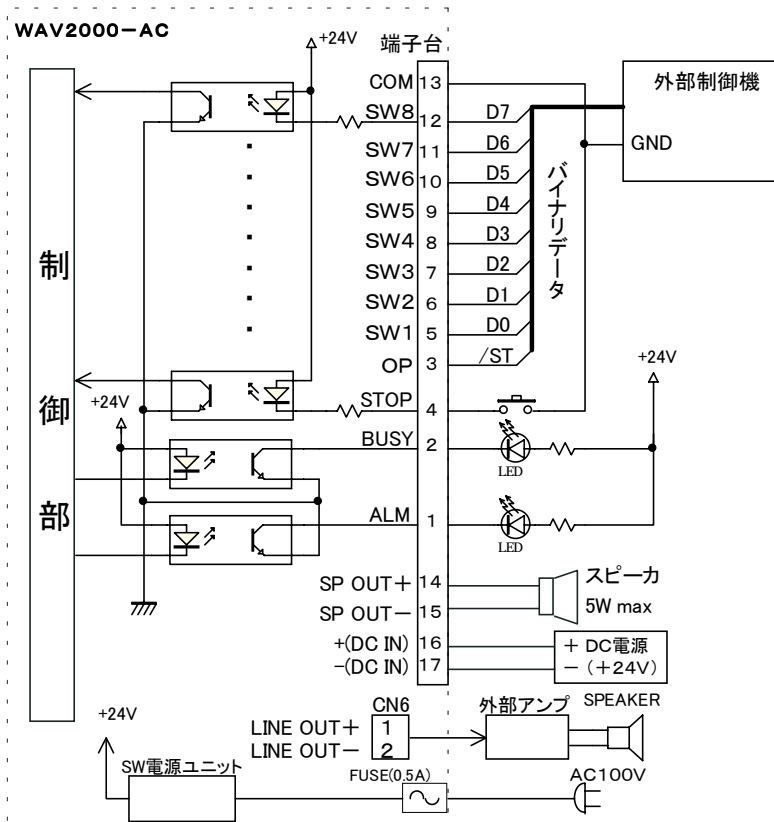


## 接続参考図 (WAV2000 - AC)

### 1. 接点制御の場合



### 2. バイナリ制御の場合

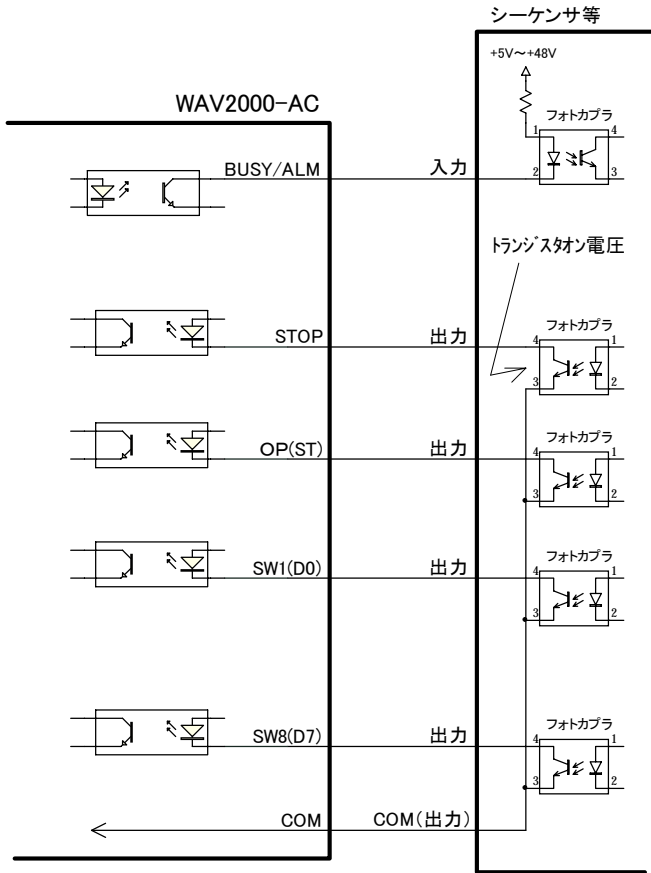


再生停止は“00h”送信にて可能ですが、“STOP”入力にても緊急停止が可能です。

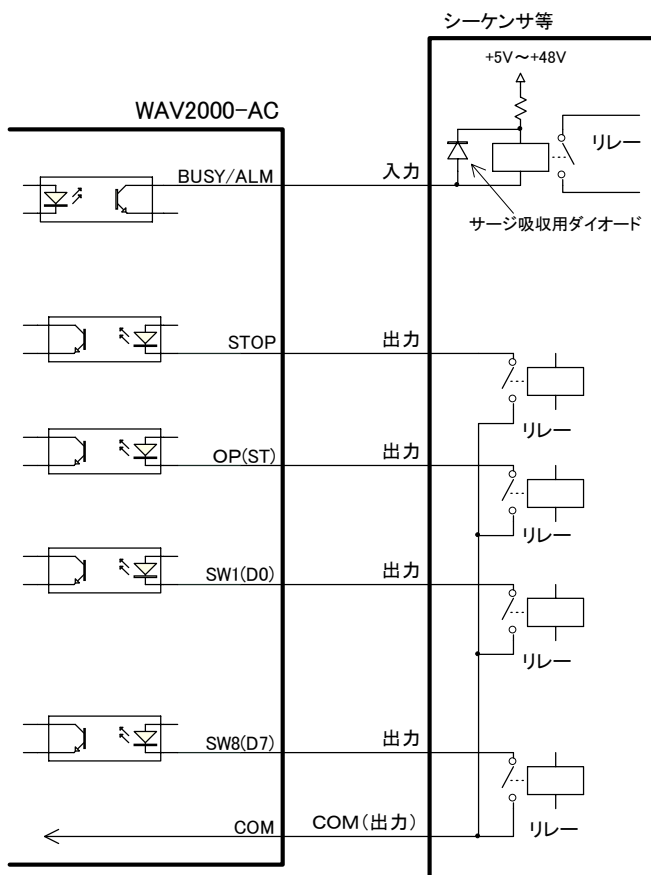


# VoiceNavi

## 3. シーケンサ等の制御機器との接続例 (参考)



トランジスタのオン電圧が0.8V以下のものを御使用願います。



リレーのコイルをドライブする時はコイル間にサージ吸収用のダイオード(繰り返し尖頭逆電圧及び直流逆電圧は、外部のサージも考慮して余裕のあるもの、また平均整流電流はコイル電流以上のダイオード)を付加して下さい。

# VoiceNavi

## 困った時に

困った状態	LED表示	原因	対処方法
電源LEDが点灯しない		電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		電源ヒューズ(WAV2000-AC)が切れている。	切れた原因を究明し、交換します。 ヒューズ：2B11 125V/0.5A (サ-ル-ツ)
再生しない接点・アドレスがある		接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再接続
	再生中のLEDが点滅	その接点・アドレスに対応したWAVEファイルがない	カードにコピーした際、漏れが生じたので、そのWAVEファイルをコピーします。
まったく再生しない		スマートメディアがセットされていない	スマートメディアがきちんとカードコネクタに挿入しているか点検し、再セットします。
	再生中のLEDが点滅	スマートメディアがフォーマットされていない	12項を参照の上、スマートメディアをフォーマットし、データ(wpjファイル,WAVEファイル)をコピーします。
	再生中のLEDが点滅	カード内にカードデータファイルがない	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。データファイルがない場合、VoiceMaker3で作成し、コピーします。
	再生中のLEDが点滅	WAVEファイルがカード内がない	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。ない場合、WAVEファイルをコピーします。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
入力接点と再生する内容が合っていない。		/OP(/ST)信号のタイミング	データと/OP(/ST)信号のタイミングが規定通りであるか、確認します。(21項参照)
		設定ミス	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
組立再生しない、順序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しない、回数が違う		設定ミス	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
スマートメディアがカードコネクタの奥まで入らない		設定ミス WAVEファイル、カードデータファイル漏れ	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします。
		挿入方向違い	挿入方向を確認し、再挿入

注．LED表示について

スマートメディアカードに於けるトラブルの確認方法として、再生中のLED(19項参照)が点滅する様になっています。

VoiceMaker3がある場合

スマートメディア内のデータを、事前にVoiceMaker3 | CardDataフォルダーに収納するフォルダを作成してコピーします。コピー後、VoiceMaker3を起動し、WAVEファイル登録画面でカードデータファイル.wpjを読み込み、画面表示、印刷、試聴して登録内容を確認します。プログラム再生登録内容も確認できます。なお必ず、試聴して確認して下さい。またレポート作成でレポート印刷できます。

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

01 - WAV-2-UM-01 010131

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

URL <http://www.voicenavi.co.jp> E-mail [info@voicenavi.co.jp](mailto:info@voicenavi.co.jp)